

講 師：広島記念病院 小児科 医長 岸 高正 先生

実施日時：平成 28 年 8 月 2 日（火） 15：00～17：30

会 場：呉市保健所東保健センター

対 象 者：保育・教育関係者

参 加 者：86 名（保育士 37 名、教諭 23 名、養護教諭 17 名、看護師 5 名、保健師 2 名、  
その他 2 名）

担当：呉市保健所

○講演内容

①てんかんの診断と治療

てんかんの定義、分類、種類、診療ガイドライン

②薬物療法の実際

初回発作の扱い、診断、てんかん薬の選択、  
新規抗てんかん薬、その特徴と適応

③てんかん児の生活支援

てんかんと学校生活、発作への対応、生活安全地図、  
過保護と過干渉、病名の告知



○アンケート結果より

<参加のきっかけ>

「てんかんの子どもを担当しているため」「てんかん専門医の話を聞きたかった」

「疾患の理解をしたかった」「岸先生の講演が分かりやすいと評判だった」

「発作時の対応を知りたいと思った」

<参加された方の感想>

「発作が起きたとき何をすればよいか分かった」「質問にも詳しく答えていただけた」

「てんかんの種類や抗てんかん薬について知ることが出来た」「講師の人柄に好感が持てた」

「今日学んだことを全職員で共有したい」「熱性けいれんとてんかんの関連性が分かった」

○相談員より一言

昨年度と地区を替え呉市で保育・教育関係者を対象とした研修会を開催しました。今回も多く  
の申し込みを頂き定員を拡大しました。てんかんの種類や診断、治療、最後に学校生活の支援な  
どについてお話いただきました。

後半の質疑応答時も活発に質問があり、参加者の関心の高さが伺えました。今後も保育・教育現  
場の皆様に病弱児の理解を深めていただくため、専門医による研修会を開催したいと思います。

